

「結果」よりも「努力」を振り返ること

2月12日（水）

先週末は気温が低い日が続き雪もたくさん降りました。今週は温かい日が続くと天気予報は言っています。しかし、長期予報では雪マークもあります。体調を崩さずあと1ヶ月余りを頑張りましょう。2月10日（月）は無事に3年生の私立高校入試も終わりました。来週2月17日（月）は公立高校推薦入試です。今週末にwebにて私立高校の合格発表があります。クラスの中でも進路が決まり始めます。3月の公立高校入試に向けて頑張っている生徒にとっては、焦りもある1ヶ月となりますが今日はこの時期に保護者の方に読んでいただきたい記事を見つけましたので紹介します。

～ここから～ 「結果」よりも「努力」を振り返ること

受験生にとって、入試の直前・直後は気持ちの浮き沈みが激しく、周囲の状況にも何かと心を動かされがちな時期だと思います。同じクラスの中に、先に推薦入試で合格していく子や、第一志望校に合格できず、落ち込んでいる子がいるかもしれません。難易度が高い高校に頑張って合格できた場合、喜びが大きいのは当然ですが、時として友達が自分より“下”にみえてしまうということが起こります。逆に第一志望校に合格できなかった場合、自分はダメな人間だと思えてしまうことがあります。保護者のかたはぜひ、合否の結果だけではなく、お子さまのこれまでの努力をそのまま認めてあげていただきたいと思います。第一志望校に合格した場合も、「合格していなかったら大変だった」というような発言は避けるべきです。また、第一志望校に不合格だった場合、残念な気持ちになるのは当然ですが、「難易度別」のものさしを早めに切り替え、進学先の高校を、お子さまが大切な青春時代を過ごす場所として再評価することが大切です。保護者のかたが残念な気持ちを引きずっていると、お子さまも後悔を引きずってしまい、入学後も高校生活に対して前向きになれない可能性が大です。

校内除雪作業の様子 感謝 感謝

